

新潟市里潟研究ネットワーク会議からの提案・提言

以下は、里潟研究ネットワーク会議の会員の方から寄せられた新潟市への提案・提言集です。スライド1枚にお一人ごとの提案・提言をまとめてあります。内容的に重複している場合もありますが調整はしておりません。

詳細は配布資料をご覧ください

ビュー福島潟事務局長 佐藤安男
湿地自治体認証を応援するウェットランド新潟 一同

- ① ブランディング事業
- ② ロゴマークをつくろう
- ③ 新潟市施設やイベントにラムサール認証「祝」冠を ←すぐできる！
- ④ HP, SNS発信～普及啓発ページの設置
- ⑤ 潟ツーリズム企画運営
- ⑥ 活用推進チームの設立・推進

新潟国際情報大学学生提案
16潟の形を模したクッキー
ガチャ



「国際湿地都市」新潟市への2023提言

NPO新潟水辺の会・鳥屋野潟がってんプロジェクト 里潟研究ネットワーク会議

ラムサール湿地都市認証を受け、2022年から2028年の認証更新までの6年間に「国際湿地都市」新潟市に期待したい取組を提言します。
潟研究ネットワークをベースに、広く市民や学校を巻き込んだ普及と16潟現地体験ワークショップとを同時並行で行う官民の取組になればと思います。

1. 市内の16潟巡りツアーを常設に
2. 潟中に近づく手段を最上位の課題に
3. 子ども達の「里潟」理解を深める場
4. 子ども達が親世代と潟を語る湿地に
5. 潟を日常に引き込む場づくり
6. 潟辺の移動(仮設)型インフォメーション

■実現したい育成プロセス

- ① 人: 潟守KATAMORI・インタープリターガイド育成
- ② モノ・施設: 環境交流港、設備・備品の整備
- ③ 金: 環境ESG投資誘導と潟ポイント実験
- ④ 情報: 実物教育とIT環境整備
- ⑤ 仕組み: 16潟体験活動支援プラットフォームの設置

詳細は配布資料をご覧ください。

■インフォメーションから体験ツアーへの展開事例



①映像で潟の概要を紹介 ➡②体験メニュー案内



➡③安全や情報を現地ガイド ➡④潟中の魅力を再発見

湿地自治体認証記念シンポジウムへの意見

佐潟と歩む赤塚の会代表 里潟研究ネットワーク会議 涌井晴之

① 湿地自治体認証授与 新潟市への期待 小中学校での環境教育の推進

湿地は生物多様性や豊かな自然を支えています。新潟市には 16 の潟の他に信濃川や阿賀野川をはじめとする河川、砂浜、水田など、さまざまなタイプの湿地があります。これらの湿地を活かした小中学校での環境教育を推進して欲しい。持続可能な開発目標 (SDGs) にあるように「住み続けられるまちづくりを」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさも守ろう」などと社会の課題解決と密接でもある。そのためにも人と湿地環境をつなぐハブ機能、拠点整備が大切です。(現状、指定管理制度ではない) 佐潟水鳥・湿地センターなどに戦略的な人員配置をお願いしたい。

② 新潟市のまちづくり、ブランディングに活かす

新潟市は 2023 年度からスタートする総合計画の中で「水辺空間や豊かに広がる田園・里山など、多様で美しい自然環境を将来世代に引き継ぐためには、脱炭素・循環型社会の実現に向けた戦略展開が重要です」と指摘しています。

佐潟水鳥・湿地センター、水の駅「ビュー福島潟」だけでなく、湿地や水にかかわる既存施設でラムサール条約にかかわるイベントを展開、循環型社会を目指す講座を開催することが大切と考えます。

環境問題に意識の高い高校生や大学生などのユース世代へのタッチポイントとしたい。さらには世界の Wetland City との交流です。ラムサール条約第 14 回締約国会議 (COP14) では、新潟市、出水市を含めて 13 カ国 25 都市が認証されました。前回の COP13 では、7 カ国 18 都市が認証されています。これらの湿地自治体の国際的なネットワークに、積極的に参加することを望みます。このことが新潟市のまちづくり、ブランディングに活かされることを期待します。

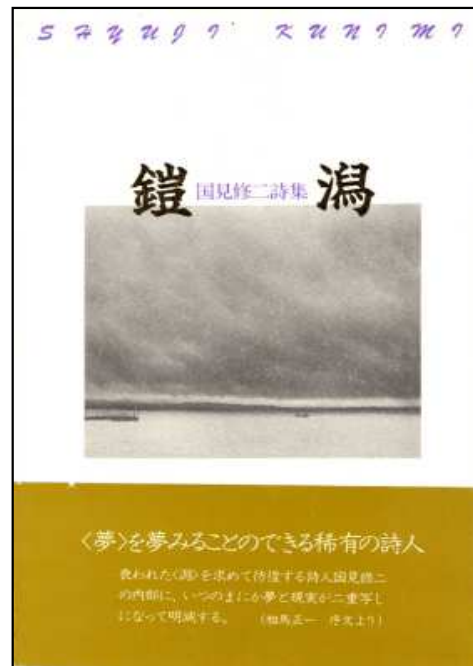
詳細は配布資料をご覧ください。

湿地都市新潟を舞台とした 水辺文学の登場を期待したい！

大熊 孝



石山与五栄門著『写真集 鎧潟』
巻町双書第11集、1964年



国見修二著『詩集・鎧潟』
土曜美術社出版、1994年
(1954年新潟県西蒲原郡潟東村生れ)



斎藤惇夫著・金井田英津子画
『河童のユウタの冒険』上下
福音館書店・2017年

新潟市「湿地・潟・ハクチョウ博物館」の設置

新潟市里潟研究ネットワーク会議座長
澤口晋一

ラムサール3本柱の拠点として
ここから「国際湿地都市新潟」
を世界に発信する！



調査・研究
湿地・環境教育
普及・啓発活動
まちづくり
ブランディング
国内外との交流
にいがた水辺文学賞

戦略・活動
拠点として
動的機能を
有する
博物館！



出水市ツル博物館 クレインパークいずみ



ウポ湿地生態学博物館(韓国 チャンニョン)



2023年度 新潟市水族館マリンピア日本海は ラムサール条約湿地自治体認証記念プログラムを開催します

➤ にいがたフィールドガイド

4月～10月（8月を除く）の各月1回程度開催（来館者対象）

➤ 田んぼ体験（にいがたフィールドの田んぼ）

田植え・稲刈り・稲架掛け・脱穀・稲わら工作（事前募集）

➤ 潟の観察会（上堰潟公園の予定）

9月24日(日) 9:30～12:00（事前募集）

➤ 舟にのって水草刈りと泥上げ体験（にいがたフィールド）

10月7日(土) 9:30～15:00（事前募集）

